

千葉県・令和2年度及び令和3年度当初 市町村における認知症施策に関するアンケート結果(令和3年7月実施)

- ※1 設問中に特に指定がない場合、「令和2年度の実績(令和3年3月31日現在)」の状況になります。
 ※2 四角内の数字は市町村数
 ※3 割合は54市町村を100%としたとき

問1. 貴市町村職員対象の認知症サポーター養成講座を実施していますか。

- | | |
|---|--|
| <p>29 1. 実施している
54% (7市町村減)</p> <p>9 3. 検討中
17% (2市町村増)</p> | <p>4 2. 令和3年度以降に実施予定
7% (2市町村増)</p> <p>12 4. 実施していない
22% (3市町村増)</p> |
|---|--|

4. と回答の場合、実施していない理由

●開催を予定していたが、コロナ禍で中止となった。10件 ●新規採用職員や希望者に行ったことはあるが現在は行っていない ●従来、新規採用職員対象研修時に実施していたが、R2年度はコロナ禍により動画のみの研修に変更となったため。

問2. 問1. で1. と回答した場合、講座の受講対象者をお答えください。(複数回答可)

- | | |
|--|--|
| <p>8 1. 全職員に実施
15% (3市町村減)</p> <p>4 3. 認知症担当課職員に実施
7% (1市町村減)</p> <p>4 5. その他 受講したことがない職員他1件・福祉部職員を対象に実施等
7% (増減なし)</p> | <p>16 2. 新規採用職員に実施
30% (1市町村減)</p> <p>9 4. 希望者を募って実施
17% (3市町村減)</p> |
|--|--|

問3. 貴市町村において、職域別の認知症サポーター養成講座を実施していますか。(複数回答可)

- | | |
|---|---|
| <p>1 1. 警察職員
2% (4市町村減)</p> <p>11 3. 金融機関
20% (8市町村減)</p> <p>8 5. 小売業
15% (8市町村減)</p> <p>21 7. その他 民生委員4件・郵便局2件・配送業2件・保険栄養推進員等
39% (2市町村減)</p> <p>19 9. 職域別の講座を実施していない
35% (5市町村増)</p> | <p>1 2. 教員
2% (2市町村減)</p> <p>0 4. 公共交通機関
0% (3市町村減)</p> <p>1 6. マンション管理人
2% (2市町村減)</p> <p>12 8. 住民対象のみ実施
22% (2市町村減)</p> |
|---|---|

9. と回答の場合、実施していない理由

●依頼・要望がない 5件 ●コロナ禍のため中止 12件 ●職域別に参集することが難しいため。

問4. 貴市町村において、学生を対象とした認知症サポーター養成講座を実施していますか。

実施している場合は、何校を対象に実施したのか、記載してください。

※複数校の生徒を1校に集めて開催した場合は、「1校」ではなく、参加した学校数を記載してください。

- | | |
|--|--|
| <p>25 1. 小学生 112 校
46% (14市町村減・133校減)</p> <p>11 3. 高校生 17 校
20% (9市町村減・20校減)</p> <p>6 5. 専門学生 7 校
11% (2市町村減・1校減)</p> | <p>11 2. 中学生 14 校
20% (14市町村減・46校減)</p> <p>9 4. 大学生 9 校
17% (2市町村減・6校減)</p> <p>20 6. 学生を対象とした講座を実施していない。
37% (12市町村増)</p> |
|--|--|

6. と回答の場合、実施していない理由

●新型コロナウイルス感染症拡大に伴い実施なし 16件 ●学校関係者との調整ができていないため 2件 等

千葉県・令和2年度及び令和3年度当初 市町村における認知症施策に関するアンケート結果(令和3年7月実施)

問5. 認知症サポーターがボランティア等として活動するために、養成講座修了者に対し、フォローアップ講座の開催などの支援を実施していますか。

14	1. 実施している	6	2. 令和3年度以降に実施予定
	26% (10市町村減)		11% (6市町村増)
19	3. 検討中	15	4. ない
	35% (4市町村増)		28% (増減なし)

1. と回答の場合、具体的内容

●年6回(各区で1回)認知症サポーターステップアップ講座を開催。●千葉県認知症サポーターフォローアップ講座カリキュラムを参考に、市で講座内容を決めて実施●独自のプログラムで開催。●定期的に集まり、認知症サポーターがどのような取り組みができるか検討している。●認知症サポート医やキャラバン・メイトが講師となり、認知症に対する知識を深める講座と、地域での活動に関するグループワークを実施●延期となっていた認知症サポーターステップアップ講座の受講予定者に対し、講座内容資料を送付●フォローアップを兼ね認知症カフェでボランティア活動を行っている。

4. と回答の場合、実施していない理由

●新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止 7件●新規のサポーター養成講座と職域別講座開催を優先しているため●マンパワー不足のため 2件●市町村でのフォローアップ講座は計画していない。●養成講座を行い、サポーターを増やしていく段階であるため。●他のボランティアへ登録を促し、認知症だけでなく、総合的な健康づくりボランティアとしてフォローしている。●養成講座自体が十分に実施できていないため、フォローアップ講座まで進めていない。●名簿の整理をしていないため

問6. 貴市町村では、認知症サポーターの活動に対し、何らかの支援をしていますか。

11	1. 実施している	5	2. 令和3年度以降に実施予定
	20% (1市町村減)		9% (5市町村増)
8	3. 検討中	30	4. 実施していない
	15% (1市町村増)		56% (5市町村増)

1. と回答の場合、具体的内容

●認知症サポーターステップアップ講座修了者に対し、ボランティア先を案内している。●認知症の情報に関するメール配信システムを使い、認知症カフェ等でのボランティア募集情報を配信している。●①『オレンジ声かけ隊』に対し、年1回の研修会を実施。
②『オレンジ協力員』に対し、各地域包括支援センターの専門職による活動のマッチングやバックアップを行っている。●事業所等に対して、ホームページでの紹介やステッカーの配付をしている●募集をかけ、認知症予防教室「頭の元気トレーニング」の運営補助として参加していただいている●認知症予防講演会とドキュメンタリー映画上映会の情報提供。●認知症カフェの運営、ボランティアの育成等の講座に出席しボランティアと協働するようにしている。●認知症カフェ終了時、ミーティング等を行っている。●認知症カフェの参加、介護予防事業の実施支援

問7. 貴市町村独自でキャラバン・メイトスキルアップのための研修等(交流会、グループワーク等)を実施していますか。(県が実施するキャラバン・メイトスキルアップ研修に参加した場合を除く)

10	1. 実施している	3	2. 令和3年度以降に実施予定
	19% (6市町村減)		6% (3市町村増)
3	3. 検討中	38	4. 実施していない
	6% (増減なし)		70% (3市町村増)

1. と回答の場合、具体的内容

●連絡会を定期的実施し、市の事業や他のメイト活動に関する情報共有や意見交換等を行っている。●例年は参集型で連絡会を開催。令和2年度は感染症拡大防止の為、書面開催し、寄せられた意見等を各メイトにフィードバックした。●年2回、認知症施策を考える会を実施の一部で、キャラバンメイト同士の意見交換の場としている。●2部構成としており、第1部では市内の認知症サポート医による講演会、第2部ではキャラバン・メイト同士による交流会を行っている。●キャラバン・メイトの連携・知識の向上を図るための、「キャラバン・メイトフォローアップ講座」を実施●年1~2回ほど集まり、顔合わせの機会をもっている。認知症サポーター養成講座に関する内容の意見交換、今後の実施方法についてなどを話合っている。

千葉県・令和2年度及び令和3年度当初 市町村における認知症施策に関するアンケート結果(令和3年7月実施)

問8. 世界アルツハイマーデー(毎年9/21)や月間(毎年9月)の機会を捉えて認知症に関する普及・啓発イベントを実施していますか。

- | | |
|--|---|
| <p>22 1. 実施している
41% (6市町村増)</p> <p>4 3. 検討中
7% (1市町村増)</p> | <p>5 2. 令和3年度以降に実施予定
9% (5市町村増)</p> <p>23 4. 実施していない
43% (12市町村減)</p> |
|--|---|

1. 2. 3. と回答の場合、イベントの具体的内容

●8月～10月に、シンボルカラーのオレンジ色の普及啓発や市役所内でのパネル展示・YouTubeやInstagram・Facebookでの周知●市民向けに認知症サポーター養成講座を実施するとともに、認知症の情報に関するメール配信システムを使い、世界アルツハイマーデーの啓発をしている。●市庁舎や地域包括支援センターにおいてオレンジリングやロバ隊長を飾るなどしてオレンジドレスアップを実施した

4. と回答の場合、実施していない理由

●新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施なし3件●新型コロナの影響により、広報誌での普及啓発を予定●コロナ禍で講演会等の実施が難しかったため●普及・啓発に関するポスター等の提示は行ったが、新型コロナウイルス感染症対策のため、イベントは実施していない。●人的余裕、ノウハウがない。●マンパワー不足のため3件●啓発活動は行っているが、世界アルツハイマーデーに合わせては行っていない●定期的に認知症に関する様々な事業を実施しているため●その月に限らず、検討している。今後は、9月に検討したい。

問9. 問8で1. 2. 3. とお答えの場合、普及・啓発イベントで認知症の本人から発信の機会がありますか。

- | | |
|--|---|
| <p>6 1. 機会あり〔千葉市・銚子市・木更津市・我孫子市・富津市・浦安市〕
11% (1市町村増)</p> | <p>28 2. 機会なし
52% (13市町村増)</p> |
|--|---|

問10. 認知症予防に向けた住民向け健康講座などの事業を行っていますか。

- | | |
|--|--|
| <p>44 1. 行っている
81% (1市町村増)</p> <p>4 3. 令和3年度以降に実施予定 7% (1市町村増)</p> | <p>6 2. 行っていない
11% (13市町村増)</p> |
|--|--|

1. 3. と回答の場合、具体的な取組内容(運動の場合は、運動名(コグニサイズ、100歳体操等)

●コグニサイズ 13件●認知症予防教室・講座 20件●介護予防事業・教室 8件●フレイル予防・健康づくり出前講座(フレイルチェック、体のネジしめ体操等)●100歳体操 3件●運動教室及び料理教室を実施●ストレッチ・筋力トレーニング

2. と回答の場合、実施していない理由

●コロナ禍前は行っていたが、コロナ禍のため行っていない●予防に向けた事業については検討中のため。●介護予防として百歳体操を推進しており事業内容が重複してしまうため。●脳健康教室を毎年開催していたが、新型コロナウイルスの感染防止のため、令和2年度は実施していない。●どのような取組みが効果的なのか検討中のため。

問11. 認知症予防について、県に望む支援はありますか。(複数回答可)

- | | |
|---|--|
| <p>51 1. 最新の情報提供
94% (2市町村増)</p> <p>17 3. 講師の派遣
31% (1市町村増)</p> | <p>17 2. 指導者の養成
31% (2市町村増)</p> <p>1 4. その他
2% (3市町村減)</p> |
|---|--|

4. とお答えの場合、具体的にどのような支援が必要か御記入ください。

●住民主体で実施でき、効果判定が簡易に行えるもので、エビデンスがしっかりしている取り組みの紹介

千葉県・令和2年度及び令和3年度当初 市町村における認知症施策に関するアンケート結果(令和3年7月実施)

問12. 貴市町村において(認知症高齢者)徘徊見守りSOSネットワークができていますか。(令和3年4月1日時点)
(複数回答可)

- | | |
|---|---|
| <p>28 1. できている
52% (2市町村増)</p> <p>4 3. 検討中
7% (2市町村増)</p> | <p>26 2. SOSネットワーク以外のネットワークの中で、
(認知症高齢者)徘徊の見守りもしている
48% (2市町村増)</p> <p>2 4. できていない
4% (2市町村増)</p> |
|---|---|

1. と回答の場合、構成員(団体、職種等)

市町村、地域包括支援センター、介護事業所、薬局、金融機関、コンビニ、タクシー、バス、高校、大学、警察、消防、水道、プロパンガス、石油販売、新聞店、保険、郵便局、生協、タクシー、その他小売業、医師会、町内会、民生委員、電力会社等

2. と回答の場合、具体的内容

●地域(住民・民生委員)による見守り、地域見守り活動協定を締結している民間事業者による見守り●アプリを活用して、協力者を増やし相互に見守り合える体制整備を進めている。●高齢者見守りネットワーク事業の中で、認知症による徘徊の見守りも行っている 17件

4. と回答の場合、ネットワークができていない理由。

●企業等と認知症の方の見守りネットワークはできているが、徘徊の見守りまではできていない。●ネットワークを必要とする事例がこれまでにないため。

問13. 県からの行方不明高齢者の搜索依頼があった場合、どのような対応をしていますか。(複数回答可)

- | | |
|---|--|
| <p>11 1. 県からの依頼範囲へFAX等で連絡
20% (1市町村増)</p> <p>9 3. その他 ●関係課へ周知 6件 ●認知症担当者が確認
17% (4市町村増)</p> | <p>32 2. 認知症担当課のみで供覧
59% (5市町村増)</p> <p>3 4. 特に対応していない[東金市・白井市・神崎町]
6% (2市町村減)</p> |
|---|--|

4. とお答えの場合、特に対応していない理由を御記入をください。

●行方不明の支援に対するネットワークがないため ●人員不足のため

問14. 千葉県警から「※情報提供書」を受け取りましたか。(新規項目)

※千葉県警の取組に認知症高齢者を警察署で保護した際に本人や家族の同意を得られた場合、「情報提供書」を作成し市町村に情報提供しています。提供された情報からケアプランの作成等に活かしてもらいます。

- | | |
|---|-----------------------------|
| <p>43 1. はい <input style="width: 100px;" type="text" value="2,564"/> 件数(年) 80%</p> | <p>11 2. いいえ 20%</p> |
|---|-----------------------------|

問15. 問14で1. とお答えの場合、受けた情報提供書からケアプランの作成等サービスにつながりましたか(新規項目)

- | | |
|---|----------------------------|
| <p>33 1. ある <input style="width: 100px;" type="text" value="578"/> 件数(年) 61%</p> | <p>9 2. いいえ 17%</p> |
|---|----------------------------|

問16. 初期集中支援チーム以外で、認知症の早期発見・診断に対する支援を行っていますか。(複数回答可)

- | | |
|---|---|
| <p>1 1. 一般健診にもの忘れに関する項目を追加
2% (増減なし)</p> <p>22 3. その他
41% (4市町村増)</p> | <p>15 2. チェックリストの配布
28% (2市町村増)</p> <p>21 4. 行っていない
39% (5市町村減)</p> |
|---|---|

その他具体的内容

●物忘れ相談実施 ●認知症個別相談会 ●医師会HPにて認知症相談医の情報提供 ●認知症の啓発パンフレットの配布 ●タブレットを使った簡易チェック ●認知症疾患医療センターとの連携 ●ホームページにて認知症アプリを掲載している。 ●ホームページ上に認知症初期スクリーニングセルフチェックシステムを導入 ●認知症予防講演会や認知症サポーター養成講座でチェックリストを配布。

千葉県・令和2年度及び令和3年度当初 市町村における認知症施策に関するアンケート結果(令和3年7月実施)

問17. 認知症サポート医及びかかりつけ医認知症対応力向上研修修了者に対し、認知症関係協議会や地域ケア会議に参加を求めるなどの連携はありますか。(県の認知症地域医療支援事業(認知症サポート医による普及啓発事業)は除く)

- | | |
|--|--|
| <p>19 1. ある
35% (5市町村増)</p> | <p>34 2. ない
63% (6市町村減)</p> |
|--|--|

1. と回答の場合、具体的な連携内容

●在宅医療推進連絡協議会●認知症初期集中支援チームの専門医●認知症総合施策検討委員会●地域ケア会議に認知症サポート医が出席●認知症初期集中支援チーム検討会議への出席、在宅医療介護連携会議委員の委嘱、若年性認知症の家族のつどいへの講師依頼

問18(1). 貴市町村では、認知症疾患医療センターとどのような連携をしていますか。

- | | |
|---|---|
| <p>31 1. 専門医療相談
57% (4市町村増)</p> | <p>32 2. 紹介、受け入れ、入院等
59% (2市町村減)</p> |
| <p>14 3. 初期集中支援チームへの支援
26% (3市町村減)</p> | <p>20 4. 圏域内の情報共有
37% (3市町村減)</p> |
| <p>20 5. 研修会等の開催
37% (7市町村減)</p> | <p>4 6. その他
7% (増減なし)</p> |
| <p>3 7. 特に連携していない
6% (2市町村減)</p> | |

6. と回答の場合、具体的内容

●認知症高齢者の家族交流会の講師依頼●訪問診療

7. と回答の場合、連携していない理由

●圏域内にあるセンターと場所が離れているため連携が取りづらい●疾患センターが遠いため、あまり情報が来ない●現在のところ、必要がないため。

問18(2). 貴市町村では、認知症疾患医療センターに何を期待しますか(複数回答可)

- | | |
|---|---|
| <p>44 1. 専門医療相談
81% (2市町村増)</p> | <p>45 2. 紹介、受け入れ、入院等
83% (2市町村増)</p> |
| <p>33 3. 初期集中支援チームへの支援
61% (1市町村増)</p> | <p>35 4. 圏域内の情報共有
65% (5市町村減)</p> |
| <p>34 5. 研修会等の開催
63% (3市町村減)</p> | <p>4 6. その他
7% (3市町村増)</p> |
| <p>0 7. 特になし
0% (増減なし)</p> | |

6. と回答の場合、具体的内容

●地域の医療機関や地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等との連携体制の構築●クリニック、診療所等の医師やスタッフに対する認知症対応の指導●訪問診療●アウトリーチ 病識がなく、受診勧奨に応じないケースへの対応

問19. 若年性認知症の人と家族への相談や支援の窓口は決まっていますか。

- | | |
|---|--|
| <p>16 1. 窓口が決まっている 担当課 関係課 窓口 関係課・地域包括支援センター
30% (4市町村増)</p> | |
| <p>37 2. 窓口はないが、相談等があった場合は関係部署と協議して対応している
69% (2市町村減)</p> | |
| <p>0 3. 今後専用窓口を設置する予定である
0% (1市町村減)</p> | |
| <p>1 4. 決まっていないし、特に対応もしていない
2% (2市町村減)</p> | |

4. と回答の場合、理由

●若年性として区別化していない。

千葉県・令和2年度及び令和3年度当初 市町村における認知症施策に関するアンケート結果(令和3年7月実施)

問20. 若年性認知症について市町村として相談に対応した事例はありますか。(地域包括支援センターの活動も含む)

- | | |
|--|--|
| <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">40</div> 1. ある
74% (3市町村減) | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">14</div> 2. ない
26% (3市町村増) |
|--|--|

問21. 標準的な認知症ケアパス(認知症の症状に応じたケアの流れ等)を作成していますか。

- | | |
|---|---|
| <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">50</div> 1. 作成済みである
93% (4市町村増) | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">4</div> 2. 未作成[東金市・神崎町・白子町・大多喜町]
7% (6市町村減) |
|---|---|

2. と回答の場合、未作成の理由 ※認知症施策推進大綱ではKPI/目標に「2025年までに市町村における認知症ケアパス作成率100%」が掲げられている。

●作成予定 3件 ●人員不足のため

問22(1). 認知症カフェを設置していますか。

- | | |
|--|--|
| <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">45</div> 1. 設置している
83% (3市町村減) | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">9</div> 2. 設置していない
17% (3市町村増) |
|--|--|

2. と回答の場合、未設置理由 ※認知症施策推進大綱ではKPI/目標に「認知症カフェを全市町村に普及(2020年度末)」が掲げられている。

●社会資源が不足しており、担い手がいない●認知症予防カフェを市の補助事業(市は資金補助および相談支援)で実施している。認知症カフェは介護事業所主催で実施している。●コロナ禍で活動が実施できずにいる。今年度、下半期に一度開催予定である●町内の介護保険事業所が独自に開催している認知症カフェについて、町が後方支援している。●マンパワー不足のため●令和元年度までは設置していたが、マンパワー不足により休止している。

問22(2). 問22(1). で1. とお答えの場合、認知症カフェの内容についてお答えください。(複数回答可)

- | | |
|---|---|
| <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">29</div> 1. 茶菓・食事の提供
54% (14市町村減) | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">41</div> 2. 専門職等による介護相談
76% (2市町村減) |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">7</div> 3. 健康チェックや医師による診断
13% (3市町村増) | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">20</div> 4. 生演奏、カラオケ・歌
37% (13市町村減) |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">17</div> 5. 囲碁将棋、編み物・工作
31% (6市町村減) | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">29</div> 6. 散歩・体操
54% (1市町村減) |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">3</div> 7. 認知症の人本人による給仕
6% (2市町村減) | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">14</div> 8. その他
26% (8市町村減) |

8. と回答の場合、具体的内容

●本人ミーティング実施後、農園作り●介護者による講演会、認知症サポーター養成講座など●栄養士・歯科衛生士の講演●毎月異なるイベントの開催●基本的には交流会だが、健康講話や体操など行っている。●コグニサイズ、認知症カフェにて脳体操、保健福祉推進員さんによる栄養教室●医療介護系実習生の受入・交流 等

問23. 認知症に関する相談窓口について、広報誌やホームページ等により周知を行っていますか。(新規項目)

- | | |
|---|---|
| <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">50</div> 1. 行っている
93% | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">4</div> 2. 行っていない[鴨川市・神崎町・白子町・鋸南町]
7% |
|---|---|

2. と回答の場合、理由 ※認知症施策推進大綱ではKPI/目標に「2025年までに周知を行っている市町村100%」が掲げられています。

●認知症ケアパスを作成したので、今後、医師会等のホームページに掲載予定●人員不足の為●現在認知症ケアパスを作成中であり、認知症ケアパスの全戸配布とホームページ掲載により周知する予定●介護の総合相談窓口という周知の仕方であり、認知症に特化した相談窓口という周知はおこなっていない。

千葉県・令和2年度及び令和3年度当初 市町村における認知症施策に関するアンケート結果(令和3年7月実施)

問24. 認知症の当事者(本人)の声を行政として聞き、施策に反映をしていますか。(新規項目)

11 1. している

20%

43 2. していない

80%

1. と回答の場合、具体的内容

●認知症地域支援推進員が認知症の人を含む高齢者にアンケート調査を実施し、第8期介護保険事業計画に掲載したり、認知症の方や介護者の声を市政だよりに掲載し、普及啓発を実施。●認知症家族の会に出席し、参加者から要望があれば、その都度対応している。●若年性認知症の方からの居場所(活動場所)が欲しいという意見に基づき 令和3年からのチームオレンジの活動として当事者を中心とした音楽サークル活動を検討している。●本人ミーティング●ケアパスに反映

2. と回答の場合、理由

●声を聞く機会はあるが、施策に反映するまでには至らない●認知症が進行してから家族からの相談が多く、当事者の意向を聞くにいたっていない●当事者の声を聞く機会を特別に設けてはいない。●現状では、当事者の声を聞く機会を設けていない。●認知症家族の会を実施しているが、包括から市町村に状況が伝わっていない。実績報告等検討が必要。●当事者の声を聞いているが、個別のケース対応に留まっている。今後は施策に反映できるように協議の場へ提案していきます。●当事者の声を聞く機会がないため

問25. 貴市町村内に家族会(本人や介護家族による組織)を設置していますか。(近隣市町村との共同設置も含む)

13 1. はい

24%

(1市町村増)

41 2. いいえ

76%

(1市町村減)

1. と回答の場合、具体的な構成メンバー、活動内容、活動頻度(回/年)等、会の形態

●介護家族 介護経験者 地域包括支援センター職員 最近の状況を話し合う 6回/年
●構成メンバー: 本人、家族、ボランティア等 活動内容: 情報交換、学びの場 活動頻度: 年6回
●介護者。介護を終えた方、介護に関心のある方で構成。介護に役立つワンポイント講話と交流を行う。年5回。その他、男性限定の家族会も年5回。どちらも、認知症の家族に限定していないが、認知症家族が多い。
●メンバー: 介護家族及び介護経験者、活動内容: 勉強会、交流会、活動頻度: 6回/年
●認知症の方の家族と元家族、デイサービス相談員が参加し、ミニ講座と情報交換会を4回/年実施。
●認知症疾患を初めに家族介護者や専門職として従事している方、認知症に関心のある方などのメンバーで構成されている。奇数月の第3水曜日の午後に実施しており、年6回実施している。個別相談や情報交換、専門機関や包括支援センターへの紹介、傾聴による心身の負担軽減などを行っている。専門職ボランティアがファシリテーターとして参加者との対話型の進行を行っており、オンライン参加を取り入れ、誰でも参加可能としている。

問26. 継続的、定期的に認知症の人(本人)及び家族交流会が行われていますか。

28 1. はい

74

か所

頻度

195

回/年

17 2. いいえ

52%

(増減なし)

0%

(4市町村減)

9 3. 把握していない

17%

(6市町村増)

問27. 多職種協働研修を実施していますか。

18 1. 実施している

33%

(増減なし)

35 2. 実施していない

65%

(4市町村減)

1. と回答の場合、実施プログラム

2 県プログラム

14 その他

●独自プログラム8件●認知症初期集中支援チーム合同研修会 等

千葉県・令和2年度及び令和3年度当初 市町村における認知症施策に関するアンケート結果(令和3年7月実施)

問28. 貴市町村独自の認知症に関する施策はありますか。

16 1. ある

30% (1市町村増)

38 2. ない

70% (1市町村減)

1. とお答えの場合、具体的に御記入ください。

● 広く市民等に対して認知症の正しい知識の普及を行い、認知症高齢者を介護する家族の支援と、認知症の方を地域で支え合う体制づくりを目指して認知症シンポジウムを開催している。医師会・薬剤師会・歯科医師会・介護事業所関係者、その他の任意団体等とのネットワーク組織で主催をしている。● 認知症サポート事業所登録事業として、認知症サポーター養成講座を受講したサポーターのいる事業所を登録して、ステッカーの配布し、認知症の人及び家族を積極的支援しようとする事業所として周知している。● かしわオレンジSOSネットワーク事業、認知症にやさしいお店、認知症にやさしいまちづくり会議● 通所系サービスを利用されている認知症高齢者が事業所で作成した作品を市役所ロビー等に掲示する展示会を開催している。● 市原市認知症連絡協議会(医療・介護の専門職で構成する任意団体)と連携し、課題抽出や対応策の検討・実施を行っている。● 重度認知症老人介護手当支給事業、認知症にやさしい地域づくりネットワーク、徘徊高齢者等位置探索システム利用費助成事業● 認知症予防教室「頭の元気トレーニング」を独自のプログラムで実施。● 南房総市はいかひ高齢者等見守りシールの該当者への配布、わんわんパトロール隊、見守りネットワーク、見守り宣言● 高齢者見守りシール(どこシル伝言板)※QRコード付きシール● もの忘れ相談会、はいかひ高齢者等みまもり事業

問29. 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業実施方法を変更した事例がありましたら御記入ください。
(例: 講座・カフェ・集いの場等) (任意)

● 認知症サポーター養成講座、認知症カフェにオンライン開催を取り入れた。
● 講座開催の場合、人数を縮小して実施。・体操を録画したDVDの配布。
● 事前申し込み制にすることで、参加者を把握した上で実施した。
● 認知症カフェに対して、新型コロナウイルス感染症対策のガイドラインを送付し、ガイドラインに沿った形で人数制限や換気など基本的な感染症対策の準備が整い次第再開していた。● 認知症カフェの休止、認知症メモリーウォークの開催方法の変更、認知症サポーター養成講座等のZOOM開催
● 認知症初期集中支援事業チーム員会議のオンライン実施・専門職向け認知症研修会(年2回)をオンラインで実施・これまでの室内での認知症カフェを、屋外でできる活動(庭仕事やウォーキング、ラジオ体操など)へ移行して実施・これまで本人が給仕して、室内で喫食、交流していた「プラチナ・カフェ」を畑で作物を育てて収穫する「プラチナ・ファーム(農園)」として実施
● オンライン(Zoom)を活用し、認知症サポーター養成講座、オレンジカフェを開催した。
● 認知症カフェは中止となり、そのまま現在も中止となっているところもある。また、認知症サポーター養成講座も依頼が減っている。認知症サポーター養成講座は本来1回でできる規模を2回に分けて実施したこともある。
● 地域包括支援センターに委託をしている認知症カフェについて、緊急事態宣言中や、施設の利用制限があり、実施できない時期にはカフェを拠点とした見守り活動を行った。
● 集いの場において、新生活様式を取り入れ、ソーシャルディスタンスを図り行った。
● 認知症サポーター養成講座のオンラインでの実施
● 中学校で開催している認知症サポーター養成講座について、従来は体育館で大人数で行っていたが、各教室で1クラスずつの開催とした。また講師の人数も10名程度であったものを学校からの要請で2名とした。
● 認知症カフェは、感染拡大防止の観点から開催見合わせとなっている。
● 認知症の方の家族の集いにおいて人数制限、時間短縮を取り入れている。
● 認知症カフェにおいて、人数が密にならないよう予約制というかたちで再開。茶菓の提供、体操、アロマオイルによるマッサージは中止とし、認知症に関しての相談がメインとなっている。

問30. 認知症施策の推進に関し、県への要望等がありましたら御記入ください。(任意)

● 千葉県内で認知症の当事者とともに活動している認知症地域支援推進員とその当事者の話を聞けるような研修を開催してほしい。
● ピアサポート活動促進に関する研修を開催してほしい。
● 他市の取り組み紹介
● 本人ミーティングの実施をはじめとした、認知症の本人の声を施策に反映していくための手法やノウハウに関するセミナー等を開催していただきたいです。
● チームオレンジコーディネーターの養成研修の開催
● R3年度新規事業 認知症本人や家族に対する伴走型支援拠点の整備の推進について、詳細をご教示いただきたい。
● 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため家に閉じこもりがちの高齢者が増えている。閉じこもりとなり認知症になったり要介護状態になった高齢者の相談も受けているので感染を防止しながら外に出て交流する工夫を教えてください
● 認知症サポーター養成講座の「フォローアップ講座」と「ステップアップ講座」の位置づけや内容の違いなどあれば、ご教示ください。・キャラバン・メイト養成講座の受講可能人数を増やしてほしいです。
● かかりつけ医レベルで、本人、家族等から認知症(疑い含む)の相談、受診があった際、適切な関係機関(市役所、地域包括支援センター)やサービスの案内を行っていただけるよう、医師会等に働きかけてほしい。
● 認知症に関する情報提供(研修等)
● チームオレンジについての具体的な活動状況の事例について伺いたい。(昨年度も記載事項)